



2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月20日

上場会社名 宮越ホールディングス株式会社
 コード番号 6620 URL <http://www.miyakoshi-holdings.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 宮越 邦正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 板倉 啓太

TEL 03-3298-7111

定時株主総会開催予定日 2020年6月26日 有価証券報告書提出予定日 2020年6月26日

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,489	1.6	973	5.2	1,163	0.6	589	14.5
2019年3月期	1,465	9.0	1,027	14.0	1,156	13.0	688	41.2

(注) 包括利益 2020年3月期 533百万円 (27.7%) 2019年3月期 418百万円 (47.3%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	営業収益営業利益率
	円 銭	%	%	%
2020年3月期	14.72	2.8	4.9	65.4
2019年3月期	18.41	4.1	6.0	70.1

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 百万円 2019年3月期 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	23,896	22,334	89.5	534.73
2019年3月期	23,302	21,800	89.8	522.68

(参考) 自己資本 2020年3月期 21,396百万円 2019年3月期 20,914百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,013	179	0	2,212
2019年3月期	665	8,676	7,476	1,390

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		0.00	0.00			
2020年3月期		0.00		0.00	0.00			
2021年3月期(予想)		0.00		0.00	0.00			

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	0.7	990	1.6	1,180	1.4	776	31.7	14.72

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期	40,014,943 株	2019年3月期	40,014,943 株
2020年3月期	537 株	2019年3月期	437 株
2020年3月期	40,014,451 株	2019年3月期	37,411,771 株

期末自己株式数

期中平均株式数

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループをとりまく世界経済は、上半期は米国の堅調な雇用情勢等に牽引され緩やかな拡大傾向にあったものの、下半期においては、米中貿易摩擦の影響や中東での地政学リスクの高まりに加え、新型コロナウイルスの感染拡大による経済への影響が増大し、先行き不透明な状況が継続しております。

一方で、当社グループの主要な事業拠点である深圳市は中国政府が進める華南最大の経済圏「グレートベイエリア」構想の中心に位置し、ハイテク、医療、フィンテックを基盤とした民間の活力を生かした新たなイノベーションを発信する都市として発展を続けるものと確信いたします。

なお、深圳市における新型コロナウイルスの感染に関し、当社グループにおいては大きな影響は出ておりませんが、今後の推移を慎重に見極める必要があると思われまます。

このような状況下、当社グループは深圳市における不動産の賃貸管理及び開発事業において、所有不動産の効率的な活用と運営管理により、稼働率の高い安定した収益基盤の強化に取り組んでおりますが、不動産再開の先行費用や人民元安に伴う為替差損等の発生により、営業利益及び当期純利益が前期に比べ減少しております。

この結果、当連結会計年度における営業収益は1,489百万円（前期比1.6%増）、営業利益973百万円（前期比5.2%減）、経常利益1,163百万円（前期比0.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益589百万円（前期比14.5%減）を計上いたしました。

不動産再開事業について

当社グループが再開を進めている深圳市は、上記で述べましたように中国華南地域の中心都市として、世界中のハイテク、金融並びに医療の最先端技術を持った企業が集結し、経済発展の核心エンジンとしての存在感を鮮明にしております。

これらの地域環境を踏まえ、当社グループは保有する不動産（土地127千㎡、建物114千㎡）の再開について地元政府と協議を進めた結果、アジア有数のワールド・イノベーション・センター（仮称：以下「WIC」といいます。）として研究開発施設、オフィス、商業・サービス施設、レジデンスなどで構成する延べ床面積約70万平方メートルの総合都市開発計画を進め、WICに参画した企業が新たなイノベーションを創出して世界に発信することを可能とする重要性を持ったプロジェクトを目指しております。

なお、当社グループは、東証一部上場企業100社を目標にWICへの誘致活動を行っておりますが、既に目標の半数を超える企業が進出の意向を表明されております。

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理」のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における資産総額は、前連結会計年度末に比べ593百万円増加し、23,896百万円となりました。この主な要因は、現預金の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ59百万円増加し、1,561百万円となりました。この主な要因は、未払法人税等の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ533百万円増加し、22,334百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する当期純利益589百万円の計上によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ821百万円増加し、2,212百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は、1,013百万円増加（前期は665百万円の増加）いたしました。これは主に税金等調整前当期純利益1,163百万円、法人税等の支払額498百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は、179百万円減少（前期は8,676百万円の減少）いたしました。これは、定期預金の解約や満期の払戻し、貸付金の回収等による収入があった一方で、新規の定期預金の預入や貸付け、長期前払費用の支出等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は、0百万円減少（前期は7,476百万円の増加）いたしました。これは、自己株式の取得によるものであります。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループをとりまく経済環境は、新型コロナウイルスの感染拡大や中国での景気低迷、為替相場の変動など様々な要因による先行き不透明感はあるものの、当社グループの事業拠点である中国深圳市は、依然としてハイテク、医療、フィンテック等付加価値の高い分野において中国経済をけん引していくものと思われま

す。このような事業環境のもと、当社グループは主軸となる賃貸管理事業の更なる効率化により安定した収益確保に努める一方で、不動産開発事業におけるイノベーションプロジェクトの推進により、当社グループの継続的成長と企業価値の向上に取り組んでまいり所存であります。

次期における通期の連結業績見通しは以下のとおりです。

営業収益	1,500百万円
営業利益	990百万円
経常利益	1,180百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	776百万円

上記の業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報及び新型コロナウイルスによる影響が第2四半期末までに収束すると仮定して判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は様々な要因により予想と異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面の間は日本基準を用いて連結財務諸表の作成を行う方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,778	7,453
営業未収入金	13	27
短期貸付金	8,100	7,660
その他	543	531
流動資産合計	15,435	15,672
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,154	2,089
減価償却累計額	△2,154	△2,089
建物及び構築物（純額）	0	0
機械装置及び運搬具	18	17
減価償却累計額	△16	△16
機械装置及び運搬具（純額）	1	1
その他	64	66
減価償却累計額	△60	△59
その他（純額）	4	7
有形固定資産合計	6	9
無形固定資産		
のれん	236	196
土地使用権	1,020	937
その他	0	0
無形固定資産合計	1,256	1,134
投資その他の資産		
投資有価証券	10	10
長期貸付金	5,834	5,894
その他	759	1,175
投資その他の資産合計	6,603	7,080
固定資産合計	7,866	8,223
資産合計	23,302	23,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	73	116
賞与引当金	2	2
その他	357	354
流動負債合計	434	473
固定負債		
繰延税金負債	281	282
退職給付に係る負債	7	7
その他	779	798
固定負債合計	1,067	1,087
負債合計	1,501	1,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217	9,217
資本剰余金	8,962	8,962
利益剰余金	3,237	3,826
自己株式	△0	△0
株主資本合計	21,416	22,005
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△501	△609
その他の包括利益累計額合計	△501	△609
非支配株主持分	886	937
純資産合計	21,800	22,334
負債純資産合計	23,302	23,896

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業収益	1,465	1,489
営業原価	164	160
営業総利益	1,300	1,328
販売費及び一般管理費	273	354
営業利益	1,027	973
営業外収益		
受取利息	167	165
経費負担調整金	2	33
その他	3	30
営業外収益合計	172	229
営業外費用		
支払利息	0	-
支払手数料	11	-
株式交付費	27	-
租税公課	-	4
為替差損	4	32
その他	-	2
営業外費用合計	43	40
経常利益	1,156	1,163
税金等調整前当期純利益	1,156	1,163
法人税、住民税及び事業税	357	414
過年度法人税等	-	73
法人税等調整額	24	7
法人税等合計	381	495
当期純利益	774	668
非支配株主に帰属する当期純利益	86	79
親会社株主に帰属する当期純利益	688	589

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	774	668
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△356	△134
その他の包括利益合計	△356	△134
包括利益	418	533
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	390	481
非支配株主に係る包括利益	27	51

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,347	5,092	2,548	△0	12,987
当期変動額					
新株の発行	3,870	3,870			7,740
親会社株主に帰属する 当期純利益			688		688
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,870	3,870	688	△0	8,428
当期末残高	9,217	8,962	3,237	△0	21,416

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△203	△203	858	13,642
当期変動額				
新株の発行				7,740
親会社株主に帰属する 当期純利益				688
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△297	△297	27	△270
当期変動額合計	△297	△297	27	8,158
当期末残高	△501	△501	886	21,800

当連結会計年度（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	9,217	8,962	3,237	△0	21,416
当期変動額					
親会社株主に帰属する 当期純利益			589		589
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	589	△0	589
当期末残高	9,217	8,962	3,826	△0	22,005

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	△501	△501	886	21,800
当期変動額				
親会社株主に帰属する 当期純利益				589
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△107	△107	51	△55
当期変動額合計	△107	△107	51	533
当期末残高	△609	△609	937	22,334

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,156	1,163
減価償却費	63	53
のれん償却額	39	39
長期前払費用償却額	23	97
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	0	0
受取利息	△167	△165
支払利息	0	-
株式交付費	27	-
為替差損益 (△は益)	9	35
営業債権の増減額 (△は増加)	6	△14
その他	△0	64
小計	1,157	1,274
利息の支払額	△146	-
利息の受取額	101	106
法人税等の支払額	△432	△498
法人税等の還付額	63	56
その他	△78	73
営業活動によるキャッシュ・フロー	665	1,013
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3	△3
長期前払費用の取得による支出	△468	△600
貸付けによる支出	△7,800	△7,600
貸付金の回収による収入	427	7,855
定期預金の預入による支出	△3,913	△8,284
定期預金の払戻による収入	2,842	8,229
差入保証金の回収による収入	0	1
その他	239	223
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,676	△179
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△236	-
株式の発行による収入	7,712	-
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,476	△0
現金及び現金同等物に係る換算差額	△29	△12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△563	821
現金及び現金同等物の期首残高	1,954	1,390
現金及び現金同等物の期末残高	1,390	2,212

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループの報告セグメントは、「不動産開発及び賃貸管理事業」の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
1株当たり純資産額	522円68銭	534円73銭
1株当たり当期純利益金額	18円41銭	14円72銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 算定上の基礎

(1) 1株当たり当期純資産額

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	21,800	22,334
純資産の部の合計額から控除する 金額(百万円)	886	937
(うち非支配株主持分)	(886)	(937)
普通株式に係る当期末の純資産額(百万円)	20,914	21,396
1株当たり純資産額の算定に用いられた 当期末の普通株式の数(株)	40,014,506	40,014,406

(2) 1株当たり当期純利益金額

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(百万円)	688	589
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)	688	589
普通株式の期中平均株式数(株)	37,411,771	40,014,451

(重要な後発事象)

該当事項はありません。